



NPO
法人

日本高山植物保護協会 JAFPA

設立35周年NPO法人20周年記念シンポジウム



写真：キタダケソウ, 故新井和也氏 提供

山の現状を知り、植物に関心を持って
希少種保護と植生改善の活動を実践する

開催要領

日時：2024年10月27日(日)
9時40分～16時40分

場所：山梨県立文学館講堂

参加費：無料

プログラム (詳細は、裏面)

第一部：植物研究者の講演

第二部：自然保護団体活動事例

第三部：山の現状報告&

パネルディスカッション

お問い合わせ・参加申し込み：日本高山植物保護協会・事務局

電話：055-251-6180 携帯：070-1387-5274

Eメール：info@npo-jafpa.or.jp

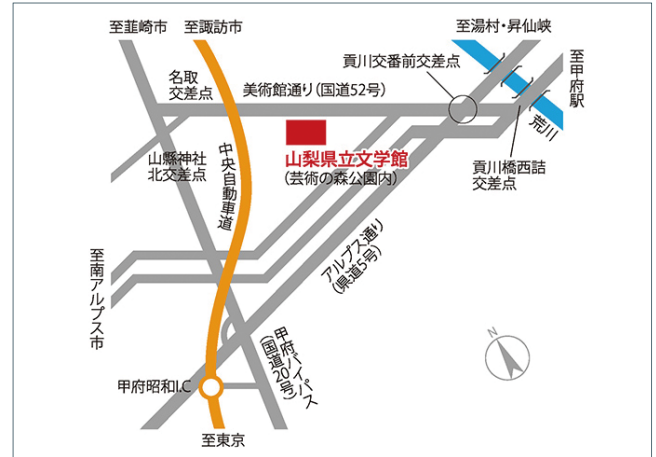


シンポジウム会場

- ・ 会場：山梨県立文学館 講堂
- ・ 住所：山梨県甲府市貢川 1-5-35
- ・ 電話：055-235-8080
- ・ 芸術の森公園内 美術館と併設

会場へのアクセス

- ・ 甲府駅南口バスターミナル 1 番乗り場
バスで約 15 分 山梨県立美術館下車
- ・ 中央自動車道甲府昭和 IC または双葉 SA スマートインター
出口より約 10 分 無料駐車場（乗用車 345 台）



シンポジウム進行表

- 9:00 開館
- 9:10 受付開始、開場
- 9:40~10:00 開会式
- 10:00~12:00 第一部 植物研究者の講演
- 12:00~13:00 昼食（各自で持参ください。講堂内では飲食できないので、ご注意ください）
- 13:00~15:00 第二部 自然保護団体活動事例
- 15:00~16:30 第三部 山の現状報告 & パネルディスカッション
- 16:30~16:40 閉会式

JAFPA の設立背景と活動

高山植物は過酷な気象条件や環境の中に生育しているため、環境に合わない場所における育成は極めて困難な植物です。しかし、その姿形が可憐なことから希少価値から盗掘され、絶滅した種類も少なくありません。さらに、地球規模の温暖化の影響として生育環境の激変や、ニホンジカの高山への進出による食害、そして人の活動による生育地へのダメージが深刻な状況になっています。

JAFPA の目的及び事業

高山植物保護思想の啓発および保護の実践等に関する事業を行い、もって日本における動植物等の生態系の保全に寄与することを目的とします。この目的を達成するため、次の事業を行います。

- ・ 高山植物全般についての保護思想の普及及び啓発
- ・ 高山植物の不法採取、盗掘防止のための監視
- ・ 高山植物の違法な販売及び私有抑制のための監視
- ・ 高山植物群落の活性及び復元
- ・ 高山植物の保護、増殖に関する調査および研究（付記）

高山植物を愛するのと同様、各地域の愛する自然を保護する活動にも協働するネットワーク構築を目指します。

第一部：講演者のご紹介

- ・ 国立科学博物館 植物研究部
多様性解析・保全グループ長 遊川知久博士
ラン科植物を中心に植物の多様性の研究をされていて、絶滅の恐れのある種や遺伝資源を次世代に伝えるための活動を行っています。
- ・ 東京大学大学院 総合文化研究科
広域科学専攻 准教授 池田啓博士
植物生態学がご専門で、高山植物の系統進化プロセスや環境適応化に光受容体が果たす役割を明らかにされています。

第二部 活動事例発表者

- ・ 豊橋市・葦毛湿原：
豊橋市文化財センター 学芸員 贄 元洋氏
- ・ 掛川市・小笠山：
小笠山を愛する協議会 副代表 瀧本 健氏
- ・ 沼田市・玉原高原：
利根沼田自然を愛する会 副会長 二川 真士氏
- ・ 山梨市・乙女高原：
乙女高原ファンクラブ 代表世話人 植原 彰氏

第三部 山の現状報告者

- ・ 山梨県・三ツ峠：
JAFPA 専務理事・本部長 中村光吉氏
- ・ 静岡県・南アルプス：
JAFPA 副会長・静岡支部長 鶴飼 一博氏

JAFPA の活動をご支援ください

JAFPA の愛称で数多くの個人会員や法人会員の皆様に協力を頂いております日本高山植物保護協会は、非営利の民間団体であるため、会員の会費で運営されています。日本の美しい高山の自然やそこに生育する数多くの貴重な高山植物を守るため、多くの人々の支援が必要です。会員になって JAFPA の活動をご支援ください。

特定非営利活動法人 日本高山植物保護協会